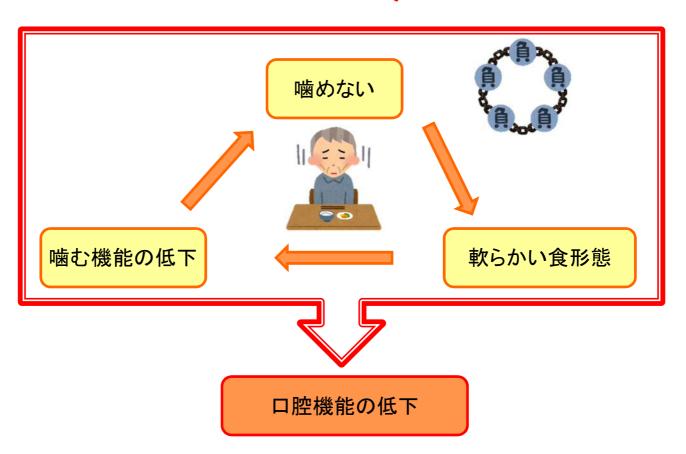
「口から食べる」をいつまでも

/ 口腔機能低下チェック

下記の項目に当てはまるものはありますか? チェックの数が多いほど、口腔機能低下のリスクが高いです。

□ むせる・食べこぼす	□ 食欲がない □ 少ししか食べられない	ロ 柔らかいものばかり 食べる
口 滑舌が悪い 舌が回らない	□ お口が乾く □ ニオイが気になる	□ 口の中が汚れている

口腔機能低下への 🧝 の連鎖



参考:東京都健康長寿医療センター平野浩彦 作図



口腔機能の低下が引き起こす症状



- 軟らかい食べ物ばかり
- 食べやすい物ばかり
- ・噛めない
- ・飲み込めない

食べる量・水分量が減り・・・

低栄養•脱水

- ・飲み込めない
- ・唾液が少ない

食べ物などが気管に入り・・・

窒息

- ・むせる
- ロの中が汚れている
- ・唾液が少ない

細菌などが気管に入り・・・

肺炎



口腔機能低下の予防は口腔ケアです

口腔ケアとは、

- ①お口の中を清潔・健康に保つこと
- ②お口の働きを良好に維持すること

①お口の中を清潔・健康に保つ

◆うがい・歯みがき・舌みがき





毛先は 歯と歯肉の境目に 小さく細かく動かす

デンタルフロスや 歯間ブラシも





◆入れ歯の手入れ



入れ歯の裏側・ばね部分もちれずに



◆お口の乾燥対策

だ液の分泌を促す

- よくかんで食べる
- ・乾燥の原因*を取り除く
- ・唾液腺マッサージをする



















飲酒·喫煙

~だ液腺マッサージ~



だ液が出てくる場所は、3か所



すっぱい食べ物 (レモン・梅干し)をイメージしながら!



①手のひらで耳の前頬を さする



②親指であごの骨の内側 をおす



③あごの下から舌のつけ根を突き上げる

②お口の働きを良好に維持すること

飲み込みに必要なお口や喉周辺の筋肉を鍛えましょう。(下記、「お口の体操)を参照)

お口の体操

食事の前にやってみよう!

飲み込みに必要な筋肉を元気にすることで、「むせ」などの症状を改善します。

~舌体操~







②上に



③左に



④右に だす



⑤舌で、左頬・右頬も つつく

~ゴックン体操~



①鼻から息を吸って 口から吐き出す



②肩を回す



③首を左右に たおす



④首を左右にまわす



⑤ゆっくり・ はっきり

パ・タ・カ・ラ

侖

自宅近くにかかりつけ歯科医をもちましょう!

高齢期は加齢や薬の服用から唾液が減少し、むし歯や歯周病になるリスクが高いです。

また歯を抜けたままにしておくと噛む力が低下するだけでなく、かみ合わせにも影響するため、入れ歯などで機能回復を図るとともに、更なる歯の喪失のリスクを減らすことが必要です。

口腔機能の維持のために歯科医院へ行くことで、おいしく食事ができた り発音がはっきりしたりと日常生活が豊かになります。

定期的なケアや早期発見・治療はお口の健康への近道です。

